



2025年3月14日

各 位

会 社 名 株式会社OSGコーポレーション
代表者名 代表取締役社長 山田 啓輔
(コード：6757 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役管理部長 安岡 正彦
(TEL. 06-6357-0101)

中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、2026年1月期から2030年1月期までの5年間を対象とする中期経営計画「OSG2030ビジョン」を策定いたしましたので、お知らせいたします。

直近の第10次4ヶ年計画におきましては「OSGの強みを活かして社会の問題を解決していく」というテーマを掲げ、**3つのカード**（水のOSG、衛生のOSG、食のOSG）と**3つの基本方針**（①グローバルと成長戦略、②生涯顧客構築、③「ステハジ」プロジェクトの推進）に基づき推進いたしました。

既の開示している「2030ビジョン」「プライム200」に則り、全体及び各セグメントの戦略につきましては柔軟に見直しを行い、2030年1月期までの中期経営計画（第11次5ヶ年計画）を策定いたしました。

詳細につきましては、添付資料をご参照ください。

以 上

第11次 5 ヶ年計画

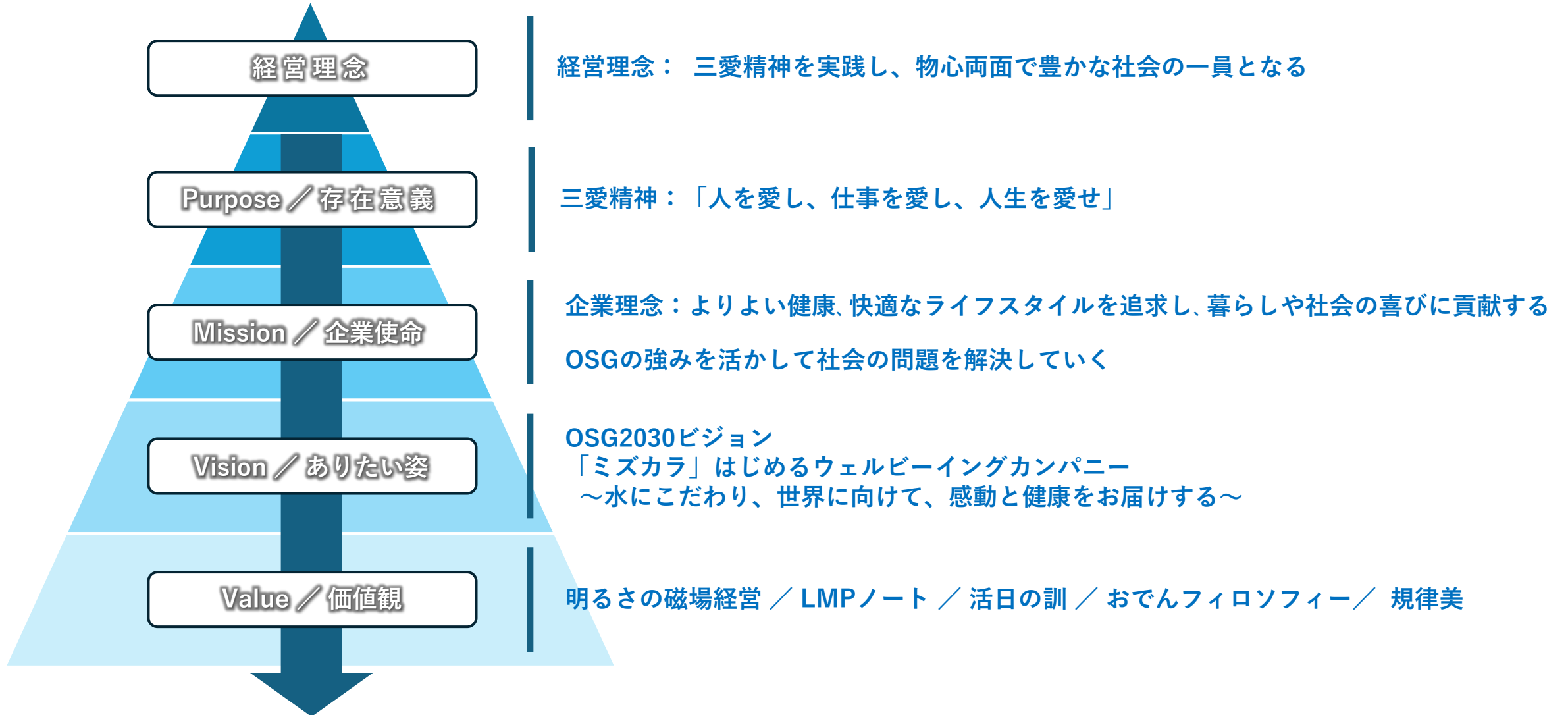
2025/03/14

株式会社OSGコーポレーション



GO!DtoGO!
おかげさまで55周年

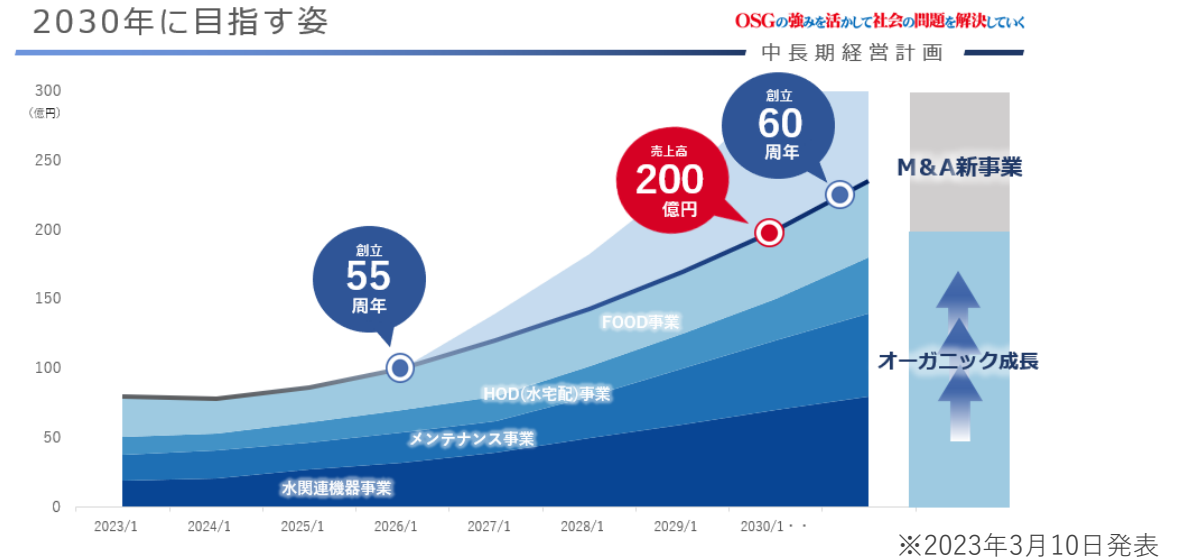
1. **第10次4ヶ年計画の振り返り**
2. **第11次5ヶ年計画（OSG2030ビジョン）**
3. **サステナビリティ目標**





中期経営計画と実績

	2025年1月期	
	計画	実績
売上高 (百万円)	8,600	7,929
営業利益 (百万円)	600	133
営業利益率 (%)	7.0	1.7
ROE (%)	12.0以上	1.3



4つのセグメントにおいて、水関連機器事業、メンテナンス事業、HOD(水宅配)事業は概ね計画通り展開いたしました。FOOD事業は計画を下回りました。「第10次4ヶ年計画」は「成長戦略とグローバル化」、「生涯顧客構築」、「『ステハジ』プロジェクト推進」の基本方針に基づき実行いたしました。また「飛躍に向けた基盤づくり」として、水関連機器事業は『ステハジ』を共通メッセージに、共創ネットワークを構築しながら大阪・関西万博での世界に向けた発信を視野に展開。またコンセプトに沿ったプロダクトをリリースしてまいりました。しかしながら、FOOD事業において、「銀座に志かわ」を取り巻く「食パン専門店」市場が、オーバーストア状態となり店舗間競争が激化いたしました。一方で、積極的な商品開発やM&A、海外進出を行ない、新中期経営計画に向けての飛躍の準備を実行してまいりました。

第10次4ヶ年計画の振り返り

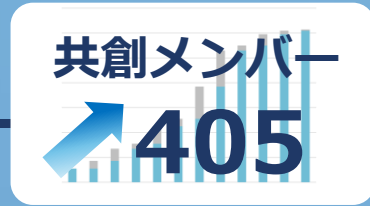


水関連機器事業

共創・万博・新事業



「ステハジ」プロジェクト



「ステハジ」共創メンバー



MINE



エブリイ



IDOVA



「ステハジ」EXPO



大阪・関西万博

FOOD事業

海外・多角化・新業態



「銀座に志かわ」
銀座本店

◆「銀座に志かわ」
グローバル展開



「銀座に志かわ」
アメリカ



「銀座に志かわ」
中国



「銀座に志かわ」
台湾

◆多角化



元祖五十番神楽坂本店



SAKImoto bakery

飛躍に向けた基盤づくり

OSG2030 ビジョン

2021年

2022年

2023年

2024年

2025年

第11次5ヶ年計画
OSG2030ビジョン

「ミズカラ」はじめる ウェルビーイングカンパニー

～水にこだわり、世界に向けて、感動と健康をお届けする～

「ミズカラ」はじめる

- ①健康は「水から」はじめる
- ②何事も主体性をもって「自ら」イキイキ活動する



ウェルビーイングカンパニー

私たちの商品やサービスを通じて、
より多くの人々が健康で幸せな気持ちになっている

源泉は企業文化

※ OSG 二大文化遺産 1：明るさの磁場経営 2：LMPノート

OSG2030ビジョン経営目標

2030年1月期

プライム200

※優良の、極上の意

売上高

200億円以上

重要経営指標

売上高営業利益率

12%以上

ROE

15%以上

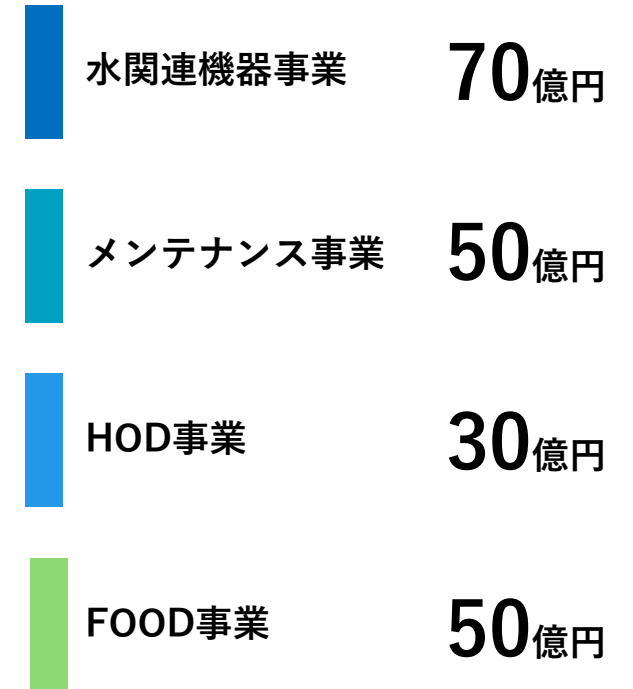
ROIC

12%以上

DOE

7%以上

セグメント別売上高



第11次5ヶ年計画
OSG2030ビジョン

「ミズカラ」はじめるウェルビーイングカンパニー

～ 水にこだわり、世界に向けて、感動と健康をお届けする～

3つの基本方針

基本方針1

方円の大器

事業ポートフォリオの
柔軟な組み替えによる
収益力の向上と拡大

基本方針2

リカーリング

すべての事業はリカーリングに
つながるビジネスの追求
顧客満足の徹底強化

基本方針3

おでんフィロソフィー

「一人ひとりが主役」と
位置付けた人的資本経営の推進
ODEN×DX×組織力

基本方針1 方円の大器

事業ポートフォリオの柔軟な組み替えによる収益力の向上と拡大

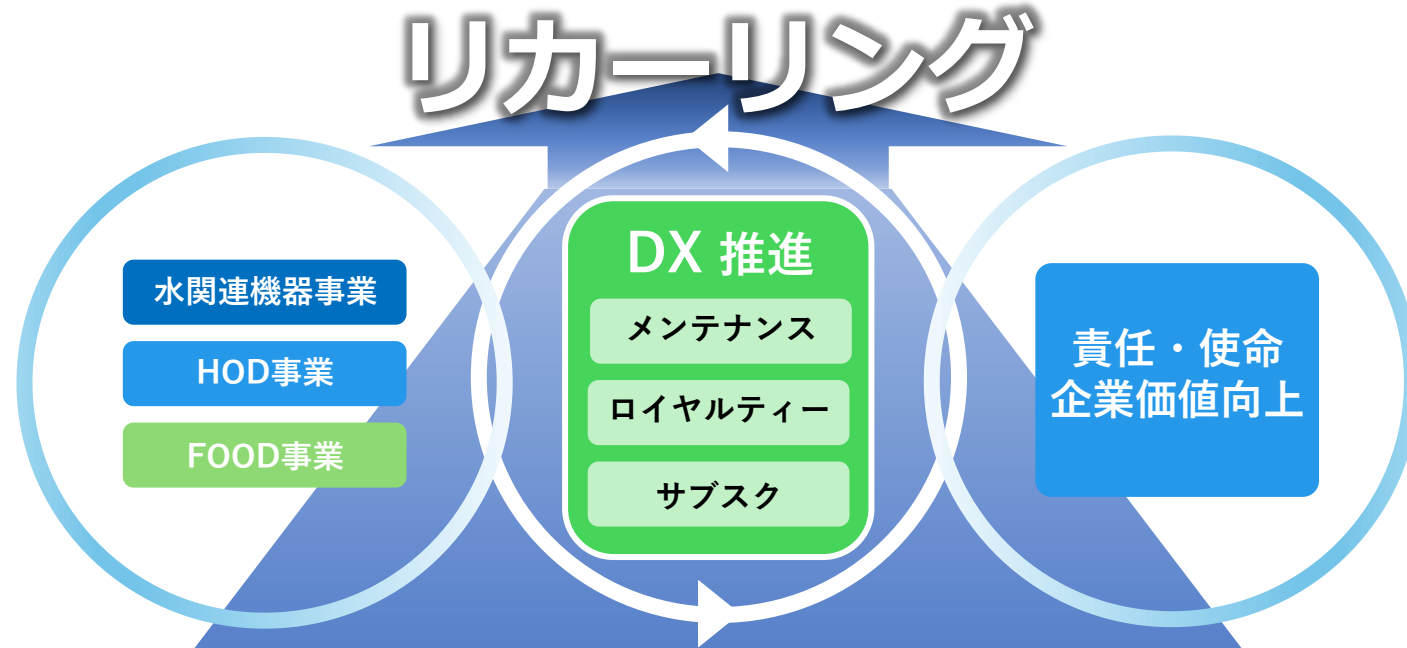


採算経営
(シン・採算経営システム)

- 1：市場の声を経営に活かす
- 2：収益力強化
- 3：次世代リーダーの育成

基本方針2 リカーリング

すべての事業はリカーリングにつながるビジネスの追求



すべての事業はリカーリングビジネスにつながる設計を強化。メンテナンス、ロイヤルティーやサブスクなどは経営において継続的安定的収益をもたらします。お客様と永いおつきあいを続けていく経営姿勢は、責任感と使命感を向上させ、更なる企業価値向上につながります。更に、デジタルを活用したデータ経営、クロスセル及びアップセルを強化してまいります。

基本方針3

おでん フィロソフィー

「一人ひとりが主役」と位置付けた人的資本経営の推進



ODEN × DX × 組織力

おでんフィロソフィー。一言で言えば、「みんな主役」という意味です。他の鍋料理には必ず、主役と脇役があるものです。しゃぶしゃぶなら肉が主役で、豆腐や白菜などは脇役です。ふぐちりも当然ふぐが主役で、春雨やしいたけは脇役です。それに対して「おでん」は全ての具が主役なのです。しかも生まれた生い立ちや環境は違って、その個性で主役の座を得ているのです。

「おでんの具」という企業文化にデジタルと組織力をかけ合わせたOSGの人的資本経営

OPEN

- ①オープンコミュニケーション
- ②小さな努力賞カードDX

Diversity

- ①多様性と包容性
- ②OSGワークスタイル2030

ENERGY

- ①元気大好きOSG
- ②礼儀とは力なり

NEXT

- ①「こぶし」宣言
- ②OSGアカデミー等階層別教育

第11次5ヶ年計画
OSG2030ビジョン

「ミズカラ」はじめるウェルビーイングカンパニー

～ 水にこだわり、世界に向けて、感動と健康をお届けする～

「ウェルビーイング」「ステハジ」を軸とし、
成長型・市場創造事業へ**経営資源を集中**

経営資源

重点領域

工場の生産性を高め、
「非顧客の顧客化から生涯顧客」へ

事業戦略を強力に推進するための
強固な経営基盤

経営基盤

「OSG2030ビジョン」
達成に向けた
基本的な考え方

リカーリング

すべての事業を**リカーリングビジネス**
につなげていき、さらにデジタルを活用

経営理念の実践と事業領域拡大が
もたらす**人的資本向上経営**

人的資本

探索領域

事業の深掘りと共に、常に
「探索」領域へのチャレンジ

重点領域

成長と創出

水関連機器事業

70億円

家庭用機器 30億円
業務用機器 40億円

家庭用機器



- ① 「ステハジ」パートナー会の育成とサブスク事業の浸透
- ② 「健康」と「環境」のリテラシー向上への貢献
- ③ リカーリング型のメンテナンス事業への承継



業務用機器



- ① 商業施設でのナンバーワン戦略
- ② 建設スペック強化と自治体ネットワークの最大化
- ③ 「医・食・獣」分野における衛生機器の拡大



基盤領域

顧客基盤とキャッシュ創出

メンテナンス事業 **50**億円

HOD事業 **30**億円

メンテナンス事業



- ① 「3つの価値向上」による生涯顧客化
- ② DXによる顧客とのタッチポイント強化
- ③ VoC (Voice of Customer)の更なる強化



HOD事業



- ① 加盟店の拡大と育成
- ② 社会的価値創造戦略 クローバープロジェクト推進
- ③ リアルとWebマーケティングの連動強化



探索領域

開拓・事業創造

FOOD事業

50億円

FOOD事業



- ① M&Aによる新ブランドや業態の多様性拡大
- ② 海外展開の強化とグローバルサプライチェーンの構築
- ③ オムニチャンネルに基づいた顧客の創造

グローバル



多角化



経営基盤

人事戦略

- ① ウェルビーイング向上
- ② 自走性向上

採用・育成

1：NEXT GENERATION 育成計画の推進

階層別教育計画の推進

2：専門性の高い人材の確保と育成

必須習得スキル明確化及び教育カリキュラム推進

3：リスクリング計画の推進

「OSG大学」創設と運営

4：ダイバーシティ&インクルージョン

「おでんフィロソフィー」の実践

環境

5：OSG企業文化の継承とブラッシュアップ

「明るさの磁場経営」・「LMPノート」の二大文化遺産を活用した人材育成及び人的資本最大化

6：OSGワークスタイル2030の実現

福利厚生強化／健康経営推進加速／エンゲージメント向上／新評価・報酬制度／採用力強化と教育制度の充実

経営基盤

経理財務戦略

企業価値の持続的な向上を目指し、資本コストと株価を重視した経営を推進

1：戦略投資の実施

新規事業／M&A／人的資本／知的財産

2：財務安全性の確保

ROE15%以上の早期実現／収益性向上／
効率性向上／財務レバレッジ活用

3：株主還元強化

DOE 7%以上／累進配当（非減配継続）／
IR活動強化

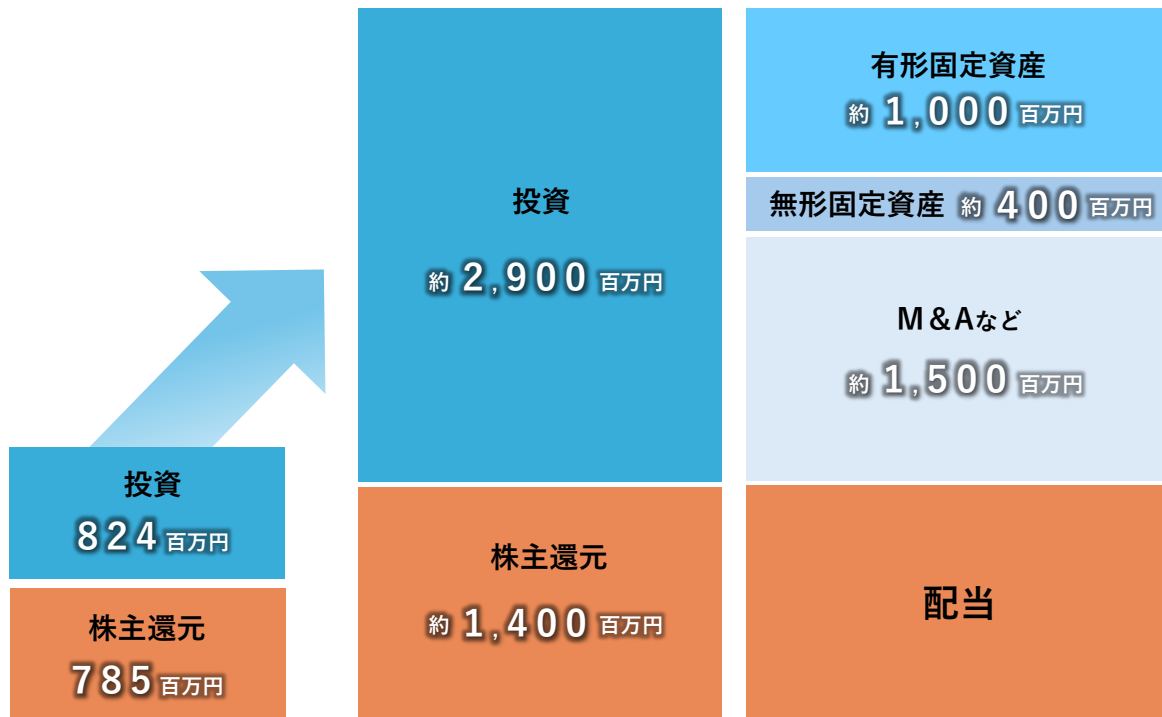
経営基盤

投資・株主還元策

- ①重点領域・探索領域を中心に成長を加速するための投資を実施
- ②成長投資の原資確保と株主還元の充実

[第10次4ヶ年計画]

[第11次5ヶ年計画]



投資

- ・重点領域を中心とした投資を強化
- ・経営基盤の強化に向けたDX投資の加速
- ・探索領域への積極的なM&A・業務提携

株主還元

- ・累進配当 ※累進配当期間：18年（2025年3月現在）
- ・DOE（株主資本配当率）を重視

第11次5ヶ年計画 2030年に目指す姿



第11次5ヶ年計画 (OSG2030ビジョン)

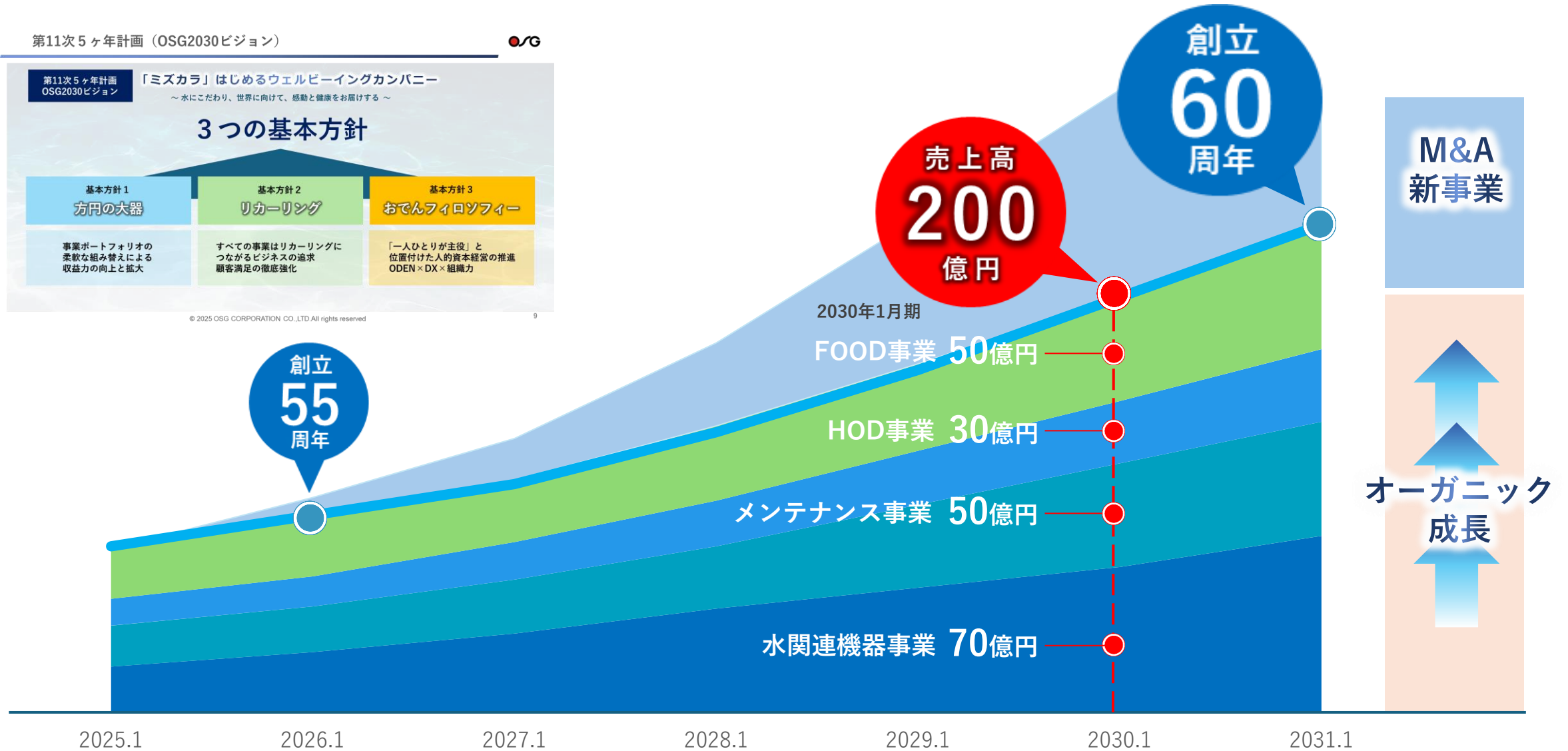


第11次5ヶ年計画 OSG2030ビジョン 「ミズカラ」は始めるウェルビーイングカンパニー
～水にこだわり、世界に向けて、感動と健康をお届けする～

3つの基本方針

基本方針1	基本方針2	基本方針3
方円の利器	リカーリング	おでんフィロソフィー
事業ポートフォリオの柔軟な組み替えによる収益力の向上と拡大	すべての事業はリカーリングにつながるビジネスの追求 顧客満足の徹底強化	「一人ひとりが主役」と位置付けた人的資本経営の推進 ODEN×DX×組織力

© 2025 OSG CORPORATION CO.,LTD.All rights reserved



中期経営計画の策定にあたり、「社会課題」と「OSGグループの経営の重要度」を総合的に網羅した重要課題（マテリアリティ）を選定いたしました。

各課題を4つのカテゴリーに分け、クリアするための目標を「サステナビリティ目標」として掲げております。本目標を達成し、サステナビリティを通じて社会と企業の持続的成長の両立を目指してまいります。

重要課題（マテリアリティ）

ステークホルダーのエンゲージメント向上

サステナビリティを志向する企業風土づくり

人材育成とダイバーシティの推進

カーボンニュートラルの実現

安心安全で豊かな社会の実現

健康

環境

共創

人的資本

サステナビリティ 主要目標



企業価値向上とともにサステナブルな社会の実現に貢献し共に発展してまいります。
2030年までの24ターゲットに対して、既に2項目が達成、16項目が前年UPの推進状況となっております。

健康

健康増進は自己成長
そして企業発展の根幹

N39システム
健康診断再検査率
30%

健康マスター検定
取得
100%

熱中症
アドバイザー
100%

運動習慣
健康増進
100%

適正体重
維持者率(BMI)
70%

非喫煙率
90%

環境

【ステハジ】の実践
“使い捨てはざかしい”
さあ、みんなでサステナブルはじめよう

ペットボトル
削減
50億本

みんなで拡げる
給水スポット
10万ヶ所

「ステハジ」
アンバサダー
100%

アジアへ安全な
飲料水支援
(井戸寄贈)
30基

製品エコ
リサイクル
30%

温室効果ガス
排出削減
50%

共創

SDGs17番の実践
パートナーシップで、
社会課題解決・地域社会への貢献

共創メンバー
500

自治体連携
47

教育機関連携
小・中・高・大
47

団体連携
10

SNS
連携
10万人

共創企画
47

人的資本

明るさの磁場経営 おでんの具
企業文化の実践で
ウェルビーイング向上

LMP
自分未来
100%

リスキング
サポート
30%

PP部
10個

女性管理職
30%

育児／介護による
離職
0%

育児休暇取得
100%

- 目標達成
- 前年比UP
- 前年比STAY
- 前年比DOWN



GOODtoGO!
おかげさまで55周年



**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS**

OSG コーポレーションは、持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

株式会社OSGコーポレーション

～ お問い合わせ先 ～

経営企画室 TEL: 06-6357-0101 FAX: 06-6357-0106

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります。この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。